

【資料2】

目標Ⅰ 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり

第7次					
		令和元年度 現状値	令和7年度 目標値	令和6年度 実績値	意見
成果指標	「社会全般」として「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性11.3% 男性24.1%	女性30.0% 男性30.0%	女性13.2% 男性22.4%	未達成→継続
	「男性は仕事、女性は家庭」と思う人の割合	女性22.3% 男性31.9%	女性20.0%未満 男性30.0%未満	女性14.6% 男性22.4%	達成→目標値変更
活動指標	ホームページにおける市の「男女共同参画」ページのアクセス数	17,636件/年	20,000件/年	19,387件/年	HPアクセス数で男女の意識を図れるのか。
	男女共同参画の意識啓発の進む度合についてホームページで新たな情報を発信するとともに、市民の関心をひくような内容の充実が図られているかをアクセス件数によって測ります。				
	男女共同参画週間事業参加者へのアンケートで「男女共同参画への意識が深まった」と回答した人の割合	69.7%	80.0%	64.0%	未達成→継続
	男女共同参画週間事業を開催し、どれだけの参加者が男女平等・男女共同参画への意識を深めることや意識改革ができたかを図ります。				
	性の多様性理解啓発事業参加者へのアンケートで「性の多様性への意識が深まった」と回答した人の割合	令和3年度からの新規	60.0%	100.0%	達成→目標変更
	性の多様性理解啓発事業を開催し、どれだけの参加者が性の多様性への理解を深めることや意識改革ができたかを図ります。				

目標Ⅱ 男女平等・男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

成果 指標	「男女共同参画社会」という言葉の認 知度	女性67.5% 男性66.1%	女性80.0% 男性80.0%	女性62.2% 男性55.8%	未達成
活動 指標	若年層に向けた男女共同参画に関 する意識啓発の回数	8回/年	9回/年	7回/年	未達成(DVの活動指標と重なっ ているため統合する)
	中高生や大学生などを対象にした男女共同参画に関する啓発の回数によって、若年層に対する男女共 同参画意識の啓発の充実度を測ります。				
	男女共同参画に関する講座・セミ ナーの参加者数	のべ586人/年	のべ600人/年	のべ810人/年	達成→目標値変更
	男女共同参画に関する講座などへの参加者数によって、教育・保育及び生涯学習の場での男女平等・ 男女共同参画意識を深めることや意識変革ができたかを測ります。				

Ⅰ 人権の尊重と男女平等・男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

第8次				
		令和6年度 現状値	令和12年度 目標値	
成果 指標	「社会全般」として「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性13.2% 男性22.4%	女性30.0% 男性30.0%	男女共同参画センター
	「男性は仕事、女性は家庭」と思う人の割合	女性14.6% 男性22.4%	女性10.0%未満 男性20.0%未満	男女共同参画センター
	「男女共同参画社会」という言葉の認知度	女性62.2% 男性55.8%	女性80.0% 男性80.0%	男女共同参画センター
活動 指標	人権・男女共同参画フォーラム参加者へのアンケートで「今の社会は性別によってやりたいことが制限されていると思わない」と回答した人の割合	令和8年度 からの新規	女性70.0% 男性70.0%	男女共同参画センター
	人権・男女共同参画フォーラムの参加者のアンケートにより、男女共同参画社会の実現の進捗を図ります。			
	男女共同参画週間事業参加者へのアンケートで「男女共同参画への意識が深まった」と回答した人の割合	64.0%	80.0%	男女共同参画センター
	男女共同参画週間事業を開催し、どれだけの参加者が男女平等・男女共同参画への意識を深めることや意識改革ができたかを図ります。			
	事業所向け性の多様性理解啓発事業参加者へのアンケートで「性の多様性への意識が深まった」と回答した人の割合	令和8年度 からの新規	60.0%	共生社会推進課
	事業所向けの性の多様性理解啓発事業を開催し、どれだけの参加者が性の多様性への理解を深めることや意識改革ができたかを図ります。			
	男女共同参画に関する講座・セミナーの参加者数	のべ810人/年	のべ900人/年	男女共同参画センター
男女共同参画に関する講座などへの参加者数によって、教育・保育及び生涯学習の場での男女平等・男女共同参画意識を深めることや意識変革ができたかを測ります。				

目標 III あらゆる分野における女性活躍の推進

成果指標	「政治・行政の場」で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性13.7% 男性27.8%	女性30.0% 男性40.0%	女性13.0% 男性27.3%	未達成
	「職場」で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性20.2% 男性29.5%	女性25.0% 男性35.0%	女性27.6% 男性38.8%	達成
	「地域」で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性35.3% 男性46.4%	女性50.0% 男性60.0%	女性37.4% 男性55.2%	未達成
	「家庭生活」で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性23.3% 男性35.6%	女性30.0% 男性40.0%	女性30.0% 男性48.9%	達成→目標を変更
活動指標	長岡京市審議会等への女性委員の参画比率	34.2%	40.0%	39.3%	未達成
	審議会などの全委員に占める全女性委員の割合によって、政策・方針決定の場への女性の参画の進む度合を測ります。				
	長岡京市の審議会等への女性委員の参画比率が40%～60%である割合	41.80% (22/55審議会)	65.00%	50.00% (28/56審議会)	未達成
	長岡京市男女共同参画推進条例に定める審議会などの女性委員割合を達成するため、どれだけの審議会などが達成できているかで積極的格差是正措置の進む度合を測ります。				
	長岡京市の女性管理職の割合	25.5%	30.0%	34.3%	達成→目標値変更
	管理職の女性割合によって、女性職員が性別にかかわらず能力を発揮できているかを測ります。				
	男女共同参画フロア(いこ～る)の承認団体数	17団体	20団体	12団体	未達成
	多世代ふれあい交流センターの男女共同参画フロアを拠点とした活動団体の数によって、地域での男女共同参画の進捗状況を測ります。				
	女性活躍に関する講座の参加者数	のべ31人/年	のべ50人/年	のべ68人/年	達成
	女性活躍をテーマとした講座やセミナーなどへの参加者数によって、女性活躍への支援の充実度を測ります。				
防災学習会の実施回数と女性参加者の割合	29回/年 54.3%	58回/年 50.00%	53回/年 56.50%	未達成	
防災学習会の実施回数と女性参加者の割合によって、防災における男女共同参画意識の浸透の度合を測ります。					

II あらゆる分野における男女の活躍

成果指標	「政治・行政の場」で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性13.0% 男性27.3%	女性30.0% 男性40.0%	男女共同参画センター
	「職場」で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性27.6% 男性38.8%	女性35.0% 男性45.0%	男女共同参画センター
	「地域」で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性37.4% 男性55.2%	女性50.0% 男性60.0%	男女共同参画センター
	長岡京市審議会等への女性委員の参画比率	39.3%	45.0%	男女共同参画センター
活動指標	審議会などの全委員に占める全女性委員の割合によって、政策・方針決定の場への女性の参画の進む度合を測ります。			
	長岡京市の審議会等への女性委員の参画比率が40%～60%である割合	41.80% (22/55審議会)	65%	男女共同参画センター
	長岡京市男女共同参画推進条例に定める審議会などの女性委員割合を達成するため、どれだけの審議会などが達成できているかで積極的格差是正措置の進む度合を測ります。			
	長岡京市の女性管理職の割合	34.3%	40.0%	職員課
	管理職の女性割合によって、女性職員が性別にかかわらず能力を発揮できているかを測ります。			
	男女共同参画フロア(いこ～る)の承認団体数	12団体	20団体	男女共同参画センター
	多世代ふれあい交流センターの男女共同参画フロアを拠点とした活動団体の数によって、地域での男女共同参画の進捗状況を測ります。			
	女性活躍に関する講座におけるアンケートにおいて「女性活躍への意欲や理解が高まった」と回答した人の割合	令和8年度からの新規	80%	男女共同参画センター
	女性活躍をテーマとした講座やセミナーなどの参加者に、女性活躍への意欲や理解が高まったかどうかを測ります。			
	防災学習会の実施回数と女性参加者の割合	53回/年 56.50%	58回/年 50.00%	防災・安全推進室
	防災学習会の実施回数と女性参加者の割合によって、防災における男女共同参画意識の浸透の度合を測ります。			
	男性向け啓発事業等におけるアンケートにおいて、男性の活動意欲が高まったと回答した割合	令和8年度からの新規	80%	男女共同参画センター

男性に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数	4回/年	5回/年	6回/年	未達成
男性への男女平等・男女共同参画に関する啓発の回数によって、男性に対する男女共同参画意識とワーク・ライフ・バランスの意識啓発の充実度を測ります。				
長岡京市男性職員の育児休業取得者数(5年間での実数)	実数2人/5年間	5人	31人	達成→目標値変更
市男性職員の育児休業を取得している人数によって、男女が共同で行う子育てとワーク・ライフ・バランスの意識の浸透が進んでいるかを測ります。				

男性向け啓発事業を開催し、男性の活動意欲が高まったかを図ります。			
長岡京市男性職員の育児休業の1ヶ月以上取得率	令和8年度からの新規	80%以上	職員課
市男性職員の育児休業の取得期間から男女が共同で行う子育てとワーク・ライフ・バランスの意識の浸透が進んでいるかを測ります。			
女性活躍関連情報の発信回数	令和8年度からの新規	5回/年	男女共同参画センター
女性活躍推進会議や商工会と連携した情報発信や女性の活躍関連情報のホームページやチラシにより女性活躍について広く周知します。			

目標 IV あらゆる暴力の根絶

成果指標	「ドメスティック・バイオレンスやデートDV」を女性の人権侵害と思う人の割合	女性53.1% 男性51.5%	女性70.0% 男性65.0%	女性81.4% 男性71.8%	達成⇒目標値変更
	男女共同参画センター(女性の相談室・男性電話相談)を知っている人の割合	女性49.6% 男性44.1%	女性60.0% 男性50.0%	女性48.4% 男性41.3%	未達成
活動指標	若年層へのDV等防止啓発事業の実施回数	4回/年	5回/年	3回/年	未達成
	中高生や大学生などを対象にしたDV等防止啓発事業の実施回数によって、若年層への暴力を許さない意識の啓発機会の充実度を測ります。				
	パープル＆オレンジリボンプロジェクトの参加者数	のべ 310人/年	のべ 400人/年	のべ 582人/年	達成⇒目標値変更
	パープル＆オレンジリボンプロジェクトの参加者数によって、ドメスティック・バイオレンス、デートDV、セクシュアル・ハラスメントなど女性に対する暴力や児童虐待を許さない意識の醸成状況を測ります。				

III あらゆる暴力の根絶と困難な問題を抱える人への支援

成果指標	「ドメスティック・バイオレンスやデートDV」を女性の人権侵害と思う人の割合	女性81.4% 男性71.8%	女性90.0% 男性80.0%	男女共同参画センター
	男女共同参画センター(女性の相談室・男性電話相談)を知っている人の割合	女性48.4% 男性41.3%	女性60.0% 男性50.0%	男女共同参画センター
	困難な問題を抱える女性が相談できる相談機関の認知状況(どれも知らない人の割合)	女性56.3% 男性49.2%	女性50.0%未満 男性40.0%未満	男女共同参画センター
活動指標	幼少期からDV等防止に関して周知した機関	令和8年度からの新規	11機関	男女共同参画センター(子育て支援課、共生社会推進課、学校教育課)
	保育所、小・中・高校、大学に対してDV等防止に関する啓発の実施によって、幼少期から正しい知識の浸透を図ります。			
	パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数	のべ 582人/年	のべ 600人/年	男女共同参画センター
	パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数によって、ドメスティック・バイオレンス、デートDV、セクシュアル・ハラスメントなど女性に対する暴力や児童虐待を許さない意識の醸成状況を測ります。			

目標 V 健康で安全な暮らしの実現

成果指標	「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という言葉の認知度	女性14.9% 男性19.3%	女性30% 男性25%	女性12.8% 男性12.9%	
活動指標	乳がん検診受診率(40～69歳)	13.30%	13.80%	14.80%	達成→目標値変更
	女性に特有な乳がんの予防、早期発見や早期治療ができるよう検査等を実施し、女性の健康づくりの環境の充実や意識の浸透の度合を測ります。				
	子育て応援教室の参加率	21.3%	25.0%	29.0%	達成→担当課確認中
	妊婦や父親が安心して育児ができるよう子育て応援教室を実施し、妊婦の育児環境の充実や父親の育児への意識の浸透の度合を測ります。				

IV 健康で安全な暮らしの実現

成果指標	心とからだの健康を保つため「生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習機会をつくる」取組が必要だと思う人の割合	女性21.8% 男性23.6%	女性30.0% 男性30.0%	男女共同参画センター
活動指標	乳がん検診受診率(40～69歳)	14.80%	16.20%	健康づくり推進課
	女性に特有な乳がんの予防、早期発見や早期治療ができるよう検査等を実施し、女性の健康づくりの環境の充実や意識の浸透の度合を測ります。			
	子育て応援教室の参加率			こども家庭センター
	総合計画との兼ね合いにより未定			